

センチュリー  
文化財団  
寄託品展覧会

# 空海と 密教の 典籍

平成29年  
11月13日〔月〕—12月15日〔金〕

第一会場 慶應義塾図書館展示室（三田） 午前9時—午後6時20分（土曜午後4時50分）  
日・祝日・11月23—26日休館

第二会場 慶應義塾大学アート・スペース 午前10時—午後5時（12月8日まで）  
土・日・祝日・11月23—26日休館 ※第一会場と会期が異なります



Kūkai and Books of the Shingon Esoteric Buddhism, 13 NOV.-15 DEC. 2017, Keio University (Mita)

展示解説 11月16日（木）14：40—/12月1日（金）14：40—  
[両日とも図書館展示室集合] 参加無料・予約不要

お問合せ 慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 03-5427-1582 <http://www.sido.keio.ac.jp/>  
[主催] 慶應義塾大学附属研究所斯道文庫、慶應義塾大学アート・センター、慶應義塾図書館

入場無料



センチュリー  
文化財団  
寄託品展覧会

# 空海と 密教の 典籍



平成29年

11月13日「月」

— 12月15日「金」

入場無料

第一会場

図書館展示室（三田）

午前9時—午後6時20分（土曜午後4時50分）

日・祝日・11月23—26日休館

第二会場

慶應義塾大学アート・スペース

午前10時—午後5時（12月8日まで）

土・日・祝日・11月23—26日休館 ※第一会場と会期が異なります



料金別納郵便

本展では、空海の著作やその注釈書を通して、日本に体系的な真言密教をもたらした空海の事績と伝承を紹介します。また、密教儀礼に伴って生まれた典籍や仏画を通して、中世の密教僧の営みにも光を当てます。あわせて、密教や空海への信仰が、文芸など他の領域に及ぼした影響も取り上げ、密教文化の広がりを探ります。

主要展示品 『弘法大師請来目録』（天文四年写）、高野版『秘密曼荼羅十住心論』（建長六年-正嘉三年刊）、『遍照發揮性靈集』（享禄二年写）、『弘法大師二十五箇条御遺告』（〔室町〕写）、『金剛界次第』（天治二年写）、『三宝院流嫡々相承次第』（〔鎌倉〕写）、『種子両界曼荼羅』（〔鎌倉〕

[主催] 慶應義塾大学附属研究所斯道文庫、慶應義塾大学アート・センター、慶應義塾図書館

展示解説（ギャラリートーク）参加無料・予約不要

11月16日（木）14:40- / 12月1日（金）14:40- [両日とも図書館展示室集合]

お問い合わせ

慶應義塾大学附属研究所斯道文庫  
03-5427-1582 <http://www.sido.keio.ac.jp/>



東京都港区三田 2-15-45  
最寄り駅：JR 田町駅、地下鉄三田駅・赤羽橋駅

Kūkai and Books of the Shingon Esoteric Buddhism, 13 NOV.-15 DEC. 2017, Keio University (Mita)

プレスリリース

平成 29 年度センチュリー文化財団寄託品展覧会

## 空海と密教の典籍

慶應義塾大学は、平成 29 年 11 月 13 日（月）から 12 月 15 日（金）まで、附属研究所<sup>しど</sup>文庫の保管するセンチュリー文化財団寄託品を中核とした展覧会「空海と密教の典籍」を開催します。

### 〈展示趣旨〉

入唐<sup>にっぽん</sup>して日本に体系的な密教をもたらした空海（774-835）。その活動は広範囲にわたっており、唐から経典や法具を請来すると共に、独創的な著作を多く著わしています。後世には伝説化した事蹟が弘法大師伝に描かれ、空海に仮託した書物も作られました。また、真言密教の教えは、多くの法流に分岐しながらも脈々と受け継がれ、中世には貴族社会・武家社会の求めに応じて、多様な密教儀礼が展開します。そうした密教儀礼（<sup>すほう</sup>修法）に際しても、多くの典籍が作られていきました。

本展では、空海の著作やその注釈書を通して、空海の事績と伝承を紹介します。また、密教儀礼に伴って作られた典籍や仏画を通して、中世の密教僧の営みにも光を当てます。あわせて、密教や空海への信仰が、文芸など他の領域に及ぼした影響も取り上げ、密教文化の広がりを探ります。

### 〈開催概要〉

#### ○会場・開室時間

第 1 会場：慶應義塾図書館展示室[三田]（会期：11 月 13 日-12 月 15 日）

平日 9:00-18:20 土曜 9:00-16:50（閉室日）日・祝日・11 月 23- 26 日

第 2 会場：慶應義塾大学アートスペース（会期：11 月 13 日-12 月 8 日）

平日 10:00-17:00（閉室日）土・日・祝日・11 月 23- 26 日

\* 第一会場と会期・開室時間が異なります。

#### ○入場料：無料

#### ○ギャラリートーク（参加無料、予約不要。いずれも第 1 会場集合）

第 1 回：11 月 16 日（木）14：40～

第 2 回：12 月 1 日（金）14：40～

#### ○主催

慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 慶應義塾大学アート・センター 慶應義塾図書館

#### ○お問い合わせ先

慶應義塾大学附属研究所斯道文庫

03-5427-1582 <http://www.sido.keio.ac.jp/>

〈主要展示品〉

- 「弘法大師像」 1幅 絹本着色 〔空町〕時代

弘法大師空海の入定に際して真如親王（平城天皇第三皇子、高岳親王）が描き、高野山御影堂に安置したと伝承される大師像の系統（真如親王様）に属するもの。

- 「種子 両界曼荼羅」 2幅 紙本着色 〔鎌倉〕時代

仏・菩薩などの諸尊を、「種子」と呼ばれる梵字で象徴的に示す形態の曼荼羅。紺紙に金泥で描かれている。

- 『弘法大師 請来目録』 空海撰 1帖 天文4年（1535）写

空海が大同元年（806）に唐から帰国した際、もたらした新訳経や仏像・道具等、約250点を記し、朝廷に献上した目録。天文4年に安芸国（現広島県西部）の僧が、高野山往生院二階堂で伝受された写本。

- 『秘密曼荼羅十住心論』 空海撰 10巻（巻一欠）9帖 建長6年-正嘉3年（1254-59）刊（高野版）

空海の主著で、天長7年（830）淳和天皇の勅命に応じて、真言宗の教義をまとめ撰述したもの。建長年間以降、高野山において空海の著作などを刊行した「高野版」と呼ばれる寺院出版の、比較的初期の本になる。

- 『遍照発揮性靈集』 真濟編 10巻（巻第一・二・五欠）7冊 慶長12年刊（高野版）

空海の詩文を弟子の真濟が編纂したもの。徳川家康に高野山支配を任された勢誉が慶長12年に刊行した、他に伝本が確認できない稀本。

弘法大師像



遍照発揮性靈集（高野版）

